

# 議 事

## 「東京宝島」の取組について



東京宝島  
TOKYO  
TREASURE ISLANDS

# 東京宝島アクセラレーションプログラム

## ○ 目的

---

各島の地域ブランドコンセプトに基づき実施する、意欲的な島内事業者等による取組に対し、その実現を加速する効果的な支援等を行うことによりブランド化を一層推進

## ○ 募集対象

---

島の隠れた魅力を再発見し、  
島内外へ発信する取組

関係人口の増加等につながる、  
島の付加価値を高めるための取組

## ○ 支援内容

---

各取組にアドバイザーを割り当て、  
取組推進をサポート

取組に係る経費を負担  
(市場調査、戦略的PR等)

## ○ 選定結果

---

8島分12件を選定

大島

大島のヒト起点で  
“学び対話し創発するツアー”の醸成

概要	より深い関係人口の増加に向け、島の内側から価値あるツアーを持続的に生み出す仕組みを開発
取組内容	ツアー醸成の仕組みづくりのために、ワークショップ開発・モニターツアー・人材育成の実施



ツアーイメージ

大島

東京宝島 伊豆大島  
「プロトコール」プロジェクト

概要	バレーボールをきっかけに、大島のスポーツツーリズムの目的地としての地位を確立
取組内容	島内外の参加者とバレーボールのアスリートとの交流イベント及び島の文化体験プログラムの実施



交流イベント（イメージ）



島の文化「あんこさん」

利島

利島島民と特産原料で作る  
「食べるラー油」の開発

概要	利島の農産物、海産物を使用した「食べるラー油」の開発を通し、島の魅力を島外に発信
取組内容	島民を巻き込んだラー油の製品化や、販売イベントへの参加



×



×



原材料となる椿油、明日葉、島トウガラシ

式根島

式根島アイランドワーケーション  
スタイルの勧め

概要	関係人口の増加に向けたアイランドワーケーションの推進
取組内容	企業版アイランドワーケーションのモニターとして、企業研修、オフサイトミーティングを受入れ



ワークスペースの様子

## 神津島

### 責任ある観光と既存ツアー高付加価値化の実証実験

#### 概要

レスポンスブルツーリズム開発（星空クルーズツアー）による繁忙期以外の観光需要の喚起

#### 取組内容

対象者に事前講義で神津島の魅力や課題を共有し、モニターツアーとSNSプロモーションを実施



星空クルーズツアー（イメージ）



島の星空

## 八丈島

### 七色八丈キャラクター開発とSNSによるブランド訴求

#### 概要

島の観光資源のアイコンとなる七色八丈のキャラクターの開発・発信による、島の認知・興味拡大

#### 取組内容

開発したキャラクターを軸に、七色八丈図鑑で紹介した島民や島の観光資源を発信



キャラクター（イメージ）



島のタレントを紹介する「七色八丈図鑑」

## 御蔵島

### 御蔵島郷土食材・料理を持続可能な仕組みで後世へ伝承していくプロジェクト

#### 概要

体験してもらいたい島の文化や味わってもらいたい御蔵島の郷土料理の伝承

#### 取組内容

レシピ製作を島民から公募し、レシピ検索サイトへ掲載するほか、アレンジレシピを開発



いもあめ  
＜御蔵島の伝統食＞  
材料(250g分)  
さつまいも  
(あめりか芋等の蜜芋) 1kg  
麦芽 500g



伝統食「いもあめ」レシピをレシピ検索サイトへ掲載 「かぶつスカッシュ」の開発

## 八丈島

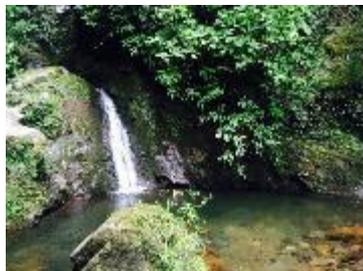
### 七色八丈で『Re:TABI』新しい旅の創造と提案

#### 概要

閑散期の山の魅力をガイドアプリに落とし込み、新しい旅を提案することで通年観光を実現

#### 取組内容

トレッキングコースの選定とガイドアプリの作成、モニターツアーの実施



山の魅力にフォーカス



ガイドアプリの活用

## 青ヶ島

### 青ヶ島の郷土文化発信を通じたブランディング事業

#### 概要

郷土文化発信を通じた、島内外の関係人口の増加に向けたブランディング

#### 取組内容

他の島しょ地域との郷土芸能交流、都内における青ヶ島シンポジウムの開催



青ヶ島の島踊りの様子



都内イベントの開催イメージ

## 青ヶ島

### 青ヶ島と未来を繋ぐ Web メディア〈アオガミライ〉

#### 概要

青ヶ島と未来を繋ぐWeb メディア〈アオガミライ〉の開設、発信による関係人口の増加

#### 取組内容

島民インタビューや、青ヶ島の歴史・文化を紹介する記事の掲載と、青ヶ島ファンへ向けたイベントの開催



動画共有サイトを活用したPR



Webメディアのロゴイメージ

## 父島

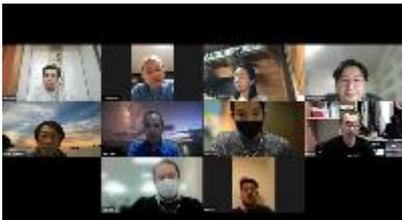
### 父島みらい会議

#### 概要

父島の取組等に共感する人を増やすとともに、持続可能な観光地経営の先進地域を確立

#### 取組内容

持続可能な観光地経営の観点から話し合う「父島みらい会議」の開催と、島民からのメッセージ動画の製作・発信



父島みらい会議の様子



動画（イメージ）

## 父島

### 訪日外国人向けロングステイ推進プロジェクト

#### 概要

ロングステイの訪日外国人来島者を増やすことによる、島の活性化

#### 取組内容

主に富裕層向けのプログラムの開発や、島内環境の整備（ワークスペースの多言語対応、電動バイク実証実験）



滞在イメージ



島内の移動に電動バイクを活用



東京宝島  
TOKYO  
ISLANDS

## (参考) 東京宝島ブランドコンセプト

- 東京宝島は、1つの包括的なブランドと11島の個別ブランドで構成
- 平成30年度・令和元年度に各島で議論を重ねた結果、11島それぞれの魅力・個性を表現するブランドコンセプトが誕生

### ～ 東京宝島ブランドコンセプト ～

### 人生の「宝」が見つかる時間

あなたが見つかる宝の時間、あなたを見つける宝の時間。  
東京宝島を、あなたの人生に。

大島

- 「ちょうどいい」が見つかる、  
行きつけになれる島

利島

- 恵みを満喫、幸6000年の里島

新島

- 新しい、でつながる島

式根島

- 働く場所が、遊ぶ場所。  
新しい「なつかしい」をつくる島

神津島

- 当たり前前の奇跡に気づく、  
豊かな水と生きる島

三宅島

- 五感を呼び覚ます、  
火山とともに過ごす島

御蔵島

- 全てが特別になる、  
あなたを宝物にする島

八丈島

- 自分の色を取り戻す、  
七色の魅力に輝く島

青ヶ島

- 自力に目覚める、絶海絶景の島

父島

- ありのままにいのちが輝く、  
別世界を生きる島

母島

- みんなが「らしく」暮らせる、  
母なる島

# 東京宝島 サステナブル・アイランド創造事業

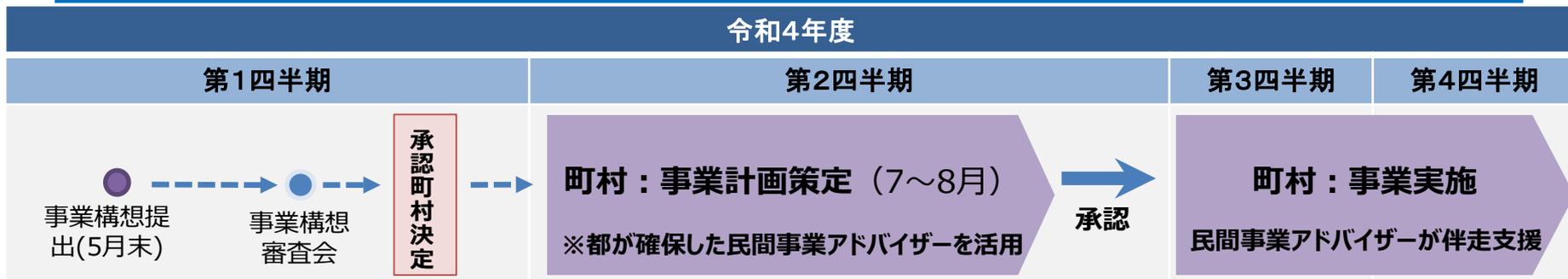
## ○ 目的

島しょ地域を取り巻く課題や地理的制約を克服するため、町村の意欲的な**公民共創の取組**を支援し、にぎわいと活力に満ち溢れた**持続可能な地域社会を創出**

## ○ 概要

項目	内容
補助対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係人口の創出、移住促進、観光客誘致等により、<b>地域産業・経済の活性化</b>につながる事業</li> <li>・ <b>先端技術やデジタル技術を活用し、社会課題の解決等へとつながる事業</b> など</li> </ul>
補助概要	<p>最長3年間 1町村あたり総額5億円(基盤整備を伴わない場合:1億円) 補助率 10/10</p>

## ○ 事業スケジュール



# 審査により承認された町村の事業構想概要

## ① 大島町 ～“GEO”の魅力と連動した自然・歴史・文化の発信～

### ○「三原山滑走台」復活プロジェクト

- 過去の歴史と融合した大島でしか体験・体感できない新たなアクティビティ（リアル又はバーチャル）の開発

### ○次世代につなぐジオミュージアム（仮）の実現

- 現状の火山博物館を一新、来訪者を魅了するためのプロジェクションマッピング等による展示物の導入に加え、国内有数の研究者（東大地震研等）と来訪者とのつながりの場を設置



昭和10～17年に存在した「三原山滑走台」  
(提供:伊豆大島ジオパーク推進委員会)

## ② 八丈町 ～DXがつなぐ未来への架け橋～

### ○「ホエール × デジタル」が生む未来型観光・自然との共生実現

- AI画像認識技術により得た情報を世界でも例を見ない観光アプリの開発やクジラの生態研究へ利用することで、環境保全と観光資源活用が調和した新たな観光モデルを構築

### ○DXによるソーシャル・イノベーションの創出

- 水道スマートメータの整備による見守りサポートや、全国自治体に先駆け顔認証決済の本格導入によるマイナンバーカードの取得促進など、スマートアイランド化の取組を推進



## ③ 新島村 ～ガラスとコーガ石が彩る新たな魅力の創出～

### ○ガラス×コーガ石「フォトジェニック」なアートの島創出プロジェクト

- 新島ガラスを用いた唯一無二の象徴的なモニュメントの設置や世界的ガラスアーティストとのコラボ作品の充実等により、アートの力で島の魅力を磨き上げる

### ○伝統と未来の融合～温泉ロッジの5レス化～

- 施設内外をガラスやコーガ石で彩り華やかな空間を演出するとともに、予約・チェックイン・支払まで無人で対応できるサービスを導入し、人口減少社会でも持続可能な宿泊施設運営モデルの確立

